

(様式2) 社会資本総合整備計画 事後評価書

平成31年 3月 日

計画の名称	山武市 美しく活力のあるまちづくり計画		
計画の期間	形成24年度～平成29年度（6年間）	交付対象	千葉県山武市
計画の目標	山武市における地域固有の文化・特徴、既存社会資本を活かした、美しく活力のあるまちづくりを推進する。 特に既存社会資本としての都市公園を活用推進するため、公園施設長寿命化計画を策定する。 さらに、公園施設長寿命化計画に基づく施設整備を実施することにより、長寿化対策の効果促進を図る。		

計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>山武市の玄関である成東駅南側地域について、道路整備等による日常生活の利便性の向上と地域の活性化を図ることにより駅周辺の快適性を向上する。</li> <li>市が管理する市内すべての都市公園の公園施設長寿命化計画を策定する。</li> <li>公園施設長寿命化計画に基づく、施設の補修、更新を行う。</li> </ul>		
----------------	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考					
				当初現況値 (H24当初)	中間目標値 (H26末)	最終目標値 (H29末)						
				5.20% (H23測定)	—	39.0%						
				0%	—	100%	全都市公園数：7公園					
				0%	—	85.7%	計画施設数：7施設					
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	1,665百万円	A	1,639百万円	B	0百万円	C	26百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	1.6%

事後評価												
○事後評価の実施体制、実施時期												
事後評価の実施体制						事後評価の実施時期						
						平成31年 2月						
庁内の横断的な組織（社会資本整備計画事後評価庁内検討会議）、山武市社会資本総合整備計画事後評価委員会（公園施設長寿命化計画及び長寿命化施設整備は山武市都市整備課にて事後評価を行った）						公表の方法						
						山武市ホームページ及び窓口閲覧にて、都市再生整備計画事業の事後評価と併せて平成31年3月公表						

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																
A 1 基幹事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）						全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28	H29		
1-A-1	都市再生整備計画事業	一般	山武市	直接	山武市	成東駅南側周辺地区都市再生整備計画事業	駅前広場、道路整備等	山武市							1,229.4	
1-A-2	公園	一般	山武市	直接	山武市	山武市都市公園安全・安心対策事業	長寿命化計画（7公園） 長寿命化対策（成東総合運動公園内の散策路更新、陸上競技場改修のための設計、陸上競技場改修工事）	山武市							409.9	
											合計	1,639.3				

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）						全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28	H29		
											合計					

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）						全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28	H29		
1-C-1	計画	一般	山武市	直接	山武市	山武市美しいまちづくり計画推進事業	計画策定	山武市							17.0	
1-C-2	公園	一般	山武市	直接	山武市	山武市公園施設長寿命化計画に基づく公園施設整備事業	施設整備（5施設）	山武市							8.8	
											合計	25.8				

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考
1-C-1	中心市街地である成東駅周辺地域の整備事業に合わせ景観計画を策定することで、市街地の景観をコントロールするとともに、山武市の自然と調和した快適で美しいまちづくりにつなげることができる。											
1-C-2	公園施設長寿命化計画に基づく施設整備を行なうことにより、既存社会資本の効率的な活用を図ることができる。											

その他関連する事業															
計画等の名称															
事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）						全体事業費 (百万円)	備考
								H22	H23	H24	H25	H26			

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

交付対象事業の効果の発現状況

- ・成東駅南側地区周辺の基盤整備が進捗し、駅周辺の快適性が向上し、「歩いて行けるまちづくり」の実現に寄与している。併せて「あじょすっ会」などの活動も活発となり、駅を中心としたイベントも参加者の増加がみられるようになった。
- ・公園の長寿命化がなされ、既存施設の効率的な活用が可能となった。

II 定量的指標の達成状況	「駅周辺の快適性」に対する満足度	最終目標値	5.2%→39.0%	目標値と実績値に差が出た要因	整備がなされ、指標の数値も大きく上昇しているが、目標値にやや到達していない。駅周辺の商業系施設が不足している事が評価値につながっていると考えられる。
		最終実績値	34.3%		
	長寿命化計画策定済の都市公園の割合	最終目標値	0%→100%	目標値と実績値に差が出た要因	事業が順調に進捗し、当初目標を達成した。
		最終実績値	100%		
	長寿命化計画に基づく施設整備の割合	最終目標値	0%→85.7%	目標値と実績値に差が出た要因	事業が順調に進捗し、当初目標を達成した。
		最終実績値	85.7%		

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況

(必要に応じて記述)

駅前広場の整備については、住民の期待と整備内容の間に大きな差があったこともうかがえる。また、関連事業も含めた整備の内容が住民への周知が十分でない状況もみられる。

3. 特記事項（今後の方針等）

- ・駅前広場の利用実態を把握し、ニーズに沿った利用方法を検討するとともに、公共交通のネットワーク化を図り、歩行者自転車動線も状況にあわせ柔軟に検討していく。
- ・活力と魅力ある駅前地区を創るために、民間活力に期待し、市としてもイベント企画や側面支援を行い、住民と協働のまちづくりを進める。
- ・防災・防犯施策を住民に周知理解を図っていくとともに、今後も防災設備の充実化を図り、市と住民協働の防犯・防災体制づくりを目指す。
- ・公園の利用増進・有効活用に向け検討を進める。

(参考図面) 市街地整備 (事後評価)

